

NEWSWAVE

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

著者 日本ビズアップ株式会社
発行 税理士法人森田会計事務所
〒630-8247
奈良市油阪町456番地 第二森田ビル4F
TEL(0742)22-3578 FAX(0742)27-1681

グーグルが3Dモデルを表示できるフォーマットをリリース ネットショッピングのスタイルを根底から変える可能性も？

AR（拡張現実）を活用したマーケティング施策が目立つ。とりわけグーグルはARに力を注いでおり、9月下旬から、モバイル端末で動物名を検索をすることでARが表示されるようになった。同じ9月に、3Dモデルを表示できるフォーマット「Swirl（スワール）」をリリース。サンプルとして用意されたスニーカーとスマートフォンを指で回すと、360度すべての角度から眺めることができる。リアルで立体的な商品を画面上でこねくり回していると、店舗で商品に触れるのに近い視覚効果を感じられる。しかも、スマートフォンは内部まで見られるようになっている。アイデア次第でリアル以上に高度な情報量と、リアルでは得られない没入体験が可能。次世代ネットショッピングの幕開けを予感させる。

しかし、なぜグーグルはARに力を注ぐのか。理由のひとつは、「情報へのアクセスを容易に、使いやすく」したいから。前出例のスニーカーも、2次元の平面的な画像だとむしろ情報量の少なさが際立つ。いくら複数方向から撮影した画像を掲載しても、実店舗での体験には到底かなわない。もうひとつは「Googleアナリティクス」などが統合される予定の「Googleマーケティングプラットフォーム」への布石と考えられる。3Dモデルを活用した先進の「クリエイティブ」と「広告運用」「分析」を1か所にまとめたプラットフォームがスタンダードになれば、グーグルの存在感はさらに強まる。「Swirl」の登場は、ネットショッピングのあり方を変えてしまう可能性があるといえそうだ。

18年分民間平均給与は約441万円 男性が545万円、女性が293万円

国税庁が公表した2018年分民間給与実態統計調査結果によると、2018年1年間を通して民間企業に勤めた給与所得者の平均給与は440万7千円で、前年に比べ2.0%（8万5千円）増加したことが分かった。平均給与は6年連続の増加。

調査結果によると、2018年12月31日現在の給与所得者数は、前年に比べ1.7%増加の5911万4千人だった。そのうち、1年を通じて勤務した給与所得者数は、前年比1.6%増の5026万4千人（正規3321万7千人、非正規1167万2千人）となり、6年連続で過去最多を更新している。

その平均給与約441万円の内訳は、平均給料・手当が同1.9%増の371万円と4年連続の増加、賞与は同2.5%増の69万7千円と2年連続で増加した。

男女別の平均給与は、男性（平均年齢46.3歳、平均勤続年数13.7年）が前年比2.5%増の545万円、女性（同46.5歳、同10.1年）が同2.1%増の293万1千円で過去最高額となった。また、正規、非正規別にみると、1人当たりの平均給与は、正規が同2.0%増の503万5千円（男性559万9千円、女性386万円）、非正規は同2.2%増の179万円（男性236万円、女性154万1千円）とともに増加したが、2.8倍の差がある。

業種別にみると、「電気・ガス・熱供給・水道業」が759万円と突出して高く、次いで「金融業、保険業」の631万円が続き、対して最も低いのは「宿泊業、飲食サービス業」の251万円だった。